５年１組通信

科学館・原爆資料館見学

02

平和について考える

平和公園訪問

戦後７９年。
長崎に生きる小学生として、戦争と原爆についての学びを通して、「平和」について考えます。

どきどきわくわく 科学館

五年生になって初めての校外学習。午前中は長崎市科学館へ行きました。

科学工作では、ガラス玉と画用紙を使った「顕微鏡」を作りました。光にかざすと塩の粒を拡大して見ることができました。

展示室では、長崎の「大地」「くらし」「未来」について遊びながら学ぶことができました。

プラネタリウムでは球状の天井に広がる星空の美しさに魅了されました。

じっくり展示を見る人、次々と体験ブースを回りたい人と、班行動に戸惑いながらも貴重な体験をしました。

長崎に生きる 小学生として

午後からは原爆資料館、爆心地公園、平和公園を見学しました。

これまで子どもたちは、全校のみなさんに平和の尊さを伝えるために、戦争や原爆について調べていました。今回はその調べ学習の一環として原爆資料館を訪問しました。

資料館には被爆した人の写真や、熱線で沸騰した瓦など、子どもたちにとっては衝撃的なものが多く展示されていましたが、一生懸命メモをして調べ学習を進めることができました。

爆心地公園ではみんなで黙とうをささげ、原爆で犠牲になった人たちの冥福をお祈りするとともに、これからも平和な日々が続くことを願いました。

写真コーナー

配信版学級通信にさらに写真を掲載する予定です！

©Mie elementary school 2024